



NPO PTPL “ともいき” 便り No.141

平成30年（2018年）2月19日発行

■雨水（雨水） 平成30年2月19日から3月5日までの節気

花屋さんでスイートピーを買いました。とてもいい香りで春を感じました。でも遊歩道のジンチョウゲのつぼみはまだかたいです。いつになったら開いてくれるのでしょうか。2月19日から3月5日までは、二十四節気では「雨水」の節気です。「雪や氷がとけて、ふる雪が雨にかわるころ」。明るい春の光が待ち遠しいです。16歳の柴犬まるは、ひなたをみつけては一日お昼寝をしています。

雨水の節気にもさまざまな記念日や行事があります。いくつか挙げてみます。2月23日は、2（ふ）2（じ）3（さん）の語呂合わせで、「富士山の日」です。2001年に山梨県富士河口湖町で条例化され、続いて静岡県で2009年12月に、山梨県で2011年12月にそれぞれ制定されました。この日、富士河口湖町では毎年「富士山の日、記念花火大会」として夜8時から20分間、花火をうちあげます。私がいつも使っている駅のホームからは遠くに富士山が見えます。白い姿は美しくてきょうはみえるかな、みえないかなといつも確認してしまいます。みなさん、ご存知のとおり、富士山は2013年にユネスコ世界遺産委員会で世界文化遺産に登録されました。富士山は姿が美しいだけではありません。

また2月23日は、2（つ）2（つ）3（み）の語呂合わせで、「風呂敷の日」でもあります。日本ふろしき会が2000年に制定しました。みなさんのご家庭には何枚、風呂敷がありますか。我が家は大小とりまぜて15枚ぐらいです。それが多いのか少ないのかわかりませんが、私はバッグに1枚入れて日々持ち歩いています。寒いときに膝掛けにしたり、エコバッグがわりに使ったりしています。日本文化の一つですから、日常的に使ってほしいなと思います。柄もバラエティに富んでいますし、季節感のあるものも多くて見るだけで嬉しくなります。ちなみに今は、梅の柄のふろしきを持ち歩いています。

そして3月3日は「ひなまつり」です。「上巳の節句」「桃の節句」ともいいます。古来中国では旧暦3月の上旬の「巳（み）」の日に桃の花の咲く水辺にあつまって、宴をおこない邪気をはらっていました。これが平安時代に日本にはいつてきて、宮中で行われていましたが、やがてお祓いのときに日本で行われていた「人形（ひとがた）に穢れをうつして川や海に流す風習」とむすびついて、流し雛へとつながっていったそうです。私たちは現在、新暦の3月3日に桃の花を飾って女の子の成長を願う行事を行っていますが、旧暦の3月3日は今年4月18日になります。このころになると桃も咲きます。鳥取県用瀬（もちがせ）町では、今も旧暦3月3日に千代（せんだい）川で流し雛の行事をしています。昔の人と同じ季節感でひなまつりを味わってみるのもいいですね。

私事で恐縮ですが、昨年末から2019年にかけて「はじめての行事シリーズ」をほるぷ出版から出すことになりました。「お正月、節分、ひなまつり、端午の節句、たなばた、七五三、お月見、冬至」の8冊です。2、3歳のこどもたちにむけての絵本です。先日「あけましてのごあいさつ」（絵・青山友美）に続き「おいしいおひなさま」（絵・小林ゆき子）が出版されました。こどものころ、母がつくってくれたひな寿司のおひなさまがヒントになってできたお話です。母に感謝です。今はひな寿司を孫娘とつくっています。母から私、私から孫娘へ。これも伝承の一つなのかもしれませんね。

ひなまつりの前日、3月2日は満月です。お月さまも、見られるといいですね。季節の変わり目です。みなさま、くれぐれもご自愛ください。

すとうあさえ（NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 会員）

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●日本2018 ジャパネスク・・・あなたと日本の話をしてみたい・・・ Vol.2
平成の時代に入って、寛容さが見失われているとみられます。その表れが騒音に対するクレームです。園児の出す声や音が騒音であるという地域住民のクレームが各地に起こっています。そのほか、集合住宅の生活音や運動場の掛け声、除夜の鐘、風鈴の音なども騒音と言われています。この風潮には見過ごすこと

のできない危うさがあります。

わが国は、少子高齢化が著しく、その一方で都市住民の過密化が進んでいます。その状況のもと、これまでの社会的な秩序や生活の仕方が揺らいでいます。生命が軽視され、痛ましい出来事が連日報道されています。その根底には世代間や職種間の対立や格差の広がりがあります。そのなかで、物事を一方的に決めつける不寛容が広まっているといってもよい。考え方や行動の仕方、言葉の使い方などに対する不快感や嫌悪感がそうさせるのです。その多くは身の回りの出来事です。そこには善悪の価値観はなく、寛容さに含まれる忍耐とか許容とかいうことは認められません。好悪の感情がすべての基準です。

人と人との関係は、インターネットを通しての間接的なものになりつつあります。生身の人間同士の付き合いは限られた範囲にしか出来なくなっています。それでよいのか、都市の片隅に暮らす、ひとりひとりが、自然と共に生き、共に生み出し、共に幸せに生き、そして共に和むという、わが国の伝統を改めて見直すことが大切ではないか、と痛切に思うのです。

ヨーロッパに始まった寛容という言葉は、主として、異なる宗教や民族に関して、相互の見解や立場を受け容れることを意味します。国連の寛容基本宣言では、「多民族・多文化社会において民主主義の根本原理のカギになるもの」とされています。現在の世界を見ると、政治的・経済的対立の背後に民族や宗教の違いについての寛容さの欠如が横たわっています。それに比べ、わが国はこの自然のもと、神道と仏教は共存してきました。

現在はキリスト教やイスラム教の信徒なども存在します。人と自然の調和を基に、民族や宗教の融和を図るのが日本の役割でありましょう。その実現を心より願っています。

※「ジャパネスク」サイトの「ジャパネスク語り」をお読みください。現在、No110 まで掲載しています。

日本 2018 ジャパネスク あなたと日本の話をしてみたい。

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

- この便りが届くころは、平昌オリンピックも後半戦。日本選手の活躍に一喜一憂しながらテレビ観戦の日々。ただ、現地は相当に寒く、風が強いようで、野外競技の選手たちが悪戦苦闘している様子がテレビを通して感じられます。そのような環境にあっても、がんばれ、日本!!

- 是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

- 会員募集のご案内

NPO 活動（ジャパネスク運動）を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。お力添えのほど、どうぞよろしく申し上げます。

詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAX にてお尋ねください。

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912

Email : info@ptpl.or.jp